

単
元
名

～くらべてよう～

じどう車くらべ

教科書出版社名（ 光村図書 ）

○ 小学校（ 1 ）年 教科等（ 国語 ）

○ 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

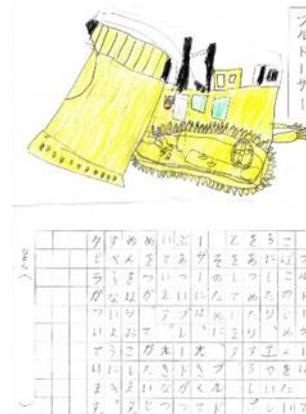
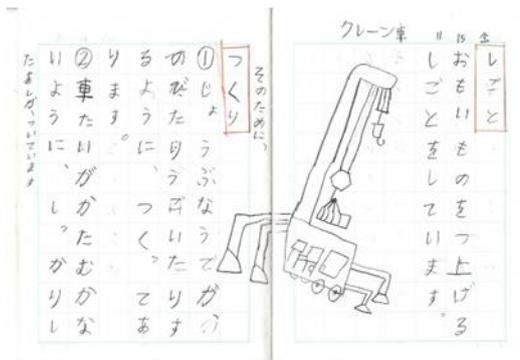
- ・説明文が「問い」と「答え」の構成で書かれていることを知る。
- ・学んだことをいかしながら、説明文を書くことができる。
- ・資料から必要な情報を選ぶことができる。

○ 学校図書館活用のポイント

- ・「じどう車」について書かれた図書資料を準備する。
- ・子どもたちの実態に応じた図書の選定を行う。

○ 学習の展開（全10時間）

第1次	・街で見る自動車について、知っていることを話す。 ・単元計画を立てる。
第2次	・教材文「じどう車くらべ」を読み、説明文には「問い」と「答え」があることを知る。 ・「バス」、「じょうよう車」、「トラック」、「クレーン車」のそれぞれの「しごと」と「つくり」を詳しく読む。 ・「はしご車」の「しごと」と「つくり」について話し合い、「はしご車」の説明文を書く。
第3次	・「1年〇くみ じどう車ずかん」で書きたい「じぶんのすきな車」を決める。 ・「じぶんのすきな車」の「しごと」と「つくり」を、図書資料を使って調べる。 ・調べたことをもとに、本文と絵を書く。 ・できあがった「じどう車ずかん」をみんなで読み合う。



【取組みを終えて】

○ 学校図書館を活用した学習における成果と課題

① 成果	<ul style="list-style-type: none">・「じどう車ずかん」を作成するという目標を最初に設定したことで、どの子も意欲をもって取り組むことができた。・本単元で学んだことをいかしながら「じどう車ずかん」を作成することができた。・全員の作品を掲示することで、子どもたちが達成感を味わうことができた。
② 課題	<ul style="list-style-type: none">・子どもたちの実態に合わせた図書を準備したが、教材文と同じような文体で書かれているものであっても、必要な言葉を抜き出したり気づいたりすることがまだまだ困難であった。・本文から必要な言葉を選び出すことが出来ても、文章にすることはまだまだ難しい。
③ 児童の感想・ふりかえり	<ul style="list-style-type: none">・みんなの「じどう車ずかん」をよんで、そんなすごい車があるんだとおもいました。・ほかの車のこともしらべてみたいと思いました。

○ 学校図書館を活用した際に注意した点や学習の中で工夫した点について

<ul style="list-style-type: none">・子どもたちが図書資料をいつでも自由に使うことができるように、教室に並べるようにした。・子どもの実態に合わせた資料を提供できるように、教科書の文章と似たような文体の図書を新たに購入した。
--